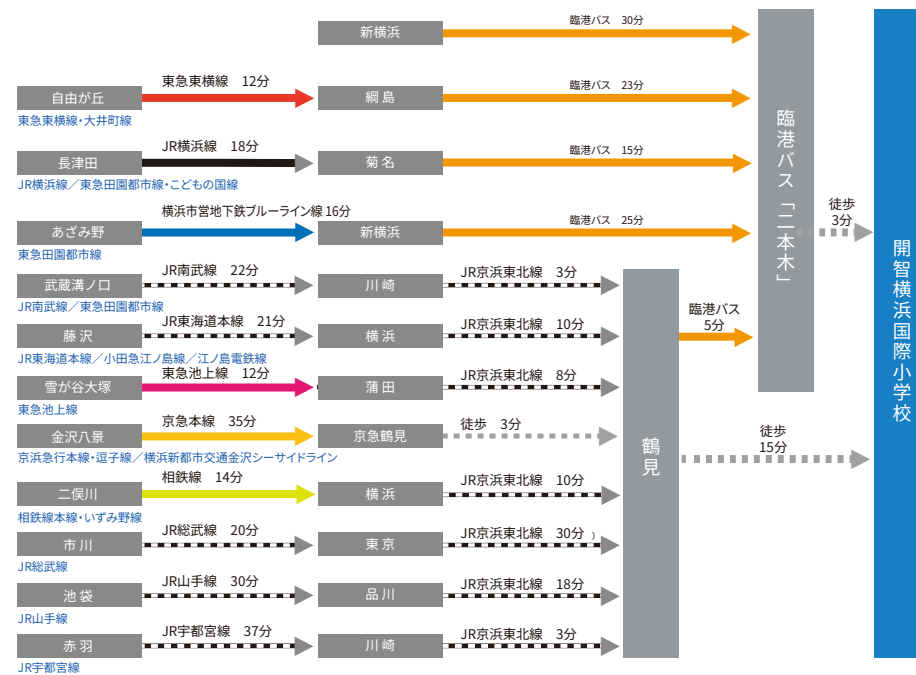


交通の案内



学校周边

※臨港・市営バスのご案内



開智横浜国際中学・高等学校
神奈川県横浜市

開智小学校（総合部）
開智中学校（中高一貫部）

開智高等学校（高等部）
埼玉県さいたま市

開智望小学校・中等教育学校
茨城県守谷市

開智未来中学・高等学校
埼玉県加須市

開智所沢小学校・中等教育学校
埼玉県所沢市

開智日本橋学園中学・高等学校
東京都中央区

開智国際大学
千葉県柏市

開智国際日本語学校
東京都八王子市

KAICHI YOKOHAMA INTERNATIONAL
PRIMARY SCHOOL

〒230-0016 神奈川県横浜市鶴見区東寺尾北台11-1
<https://ykp.kaichigakuen.ed.jp>



KAICHI YOKOHAMA INTERNATIONAL
PRIMARY SCHOOL



好きを得意に!!



「なぜ?」を、夢中に変えていく。

好きなことを、思いきり好きでいてほしい。

探究的な学びを実践してきた開智学園だからこそ、一人ひとりの好奇心を大切にしながら、子どもたちが安心して挑戦できる環境を育むことができます。

開智横浜国際小学校では、好きなことに夢中になり、自ら問い、考え、学びを深める。

そんな毎日を通して、未来を生きる力を育てていきます。

CONTENTS

教育方針・教育理念・12年間の学び	03	教科の学び	09
探究型の学び	05	英語 / ICT	11
一年の流れ / 一日の流れ	07	中高の学び / 制服 / 施設・設備 / アフタースクール	13

※本パンフレットの内容は、現在、開智学園で実施している教育内容をもとに作成しています。開智横浜国際小学校では、2027年度入学生より順次実施する予定です。教育内容は変更となる場合があります。
※掲載写真には、一部イメージ画像を使用しています。

1

21世紀をともに歩む力を養う、探究型の学び

子どもたちの身の回りにある「なぜ?」「どうして?」について、仮説を立てて検証し、自分なりの答えを仲間に発信することで発見を共有します。すると新たな問いが生まれ、学びが深まっていきます。探究型の学びを通して、簡単に答えが見つからない課題の多い21世紀を力強く歩むための思考力・判断力・発信力を育みます。

2

学びを世界へとつなげていく、確かな英語力

グローバル化の進展により、コミュニケーション手段としての英語力が求められ、小学校の英語教育は大きく変化してきました。しかし開智学園では、日常会話のための英語力にとどまらず、将来、研究者として専門性を深める際にも必要となる確かな英語力を育むカリキュラムを、小学校から中学校・高等学校まで一貫して展開しています。

3

豊かな心を育む、異学年活動の取り組み

学年の枠を越えた交流を大切にしています。子どもたちは日々の学級での学びに加え、学校行事や特別活動を通して異学年の児童と関わります。交流の中で、上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生に憧れながら成長します。互いを認め合い、協力し合う中で、相手を理解し、自ら考えて行動できる人間性と社会性を養います。

4

自立した大人へと成長する、12年一貫の学び

子どもたちが横浜キャンパスで過ごす12年間は、自ら考え、行動し、社会に貢献できる人へ成長する大切な時間です。小学校で培った学ぶ力や豊かな人間性は、中学校・高等学校へとつながり、一人ひとりの可能性を広げます。小・中・高と連続性ある学びの中で、子どもたちは自分らしい未来を描きながら、世界へ羽ばたく力を身につけます。



名誉学園長 大村 智

ノーベル生理学・医学賞受賞（2015年）薬学博士・医学博士 / 北里大学特別名誉教授 / 女子美術大学名誉理事長 / 日本学士院会員 / 瑞宝重光章 / 文化功労者 / Hamano Umezawa Memorial Award 他多数受賞



校長 原田 祐一

人間は長い歴史のなかで自然から学び、その恵みを利用して生活を豊かにしてきました。一方で地球そのものが持つ「生み出す力」を弱めるようになってしまいました。これは人類の存亡にかかわる問題です。21世紀に生きる若者は、人類が直面している諸問題の解決に勇気を持って進んでいただきたい。そのためには一人の人間としてのしっかりとした基礎づくりが必要です。毎日の地道な観察や体験を通して、あるいは様々な文化に広く触れることで、柔軟で豊かな想像力、物事を見極める洞察力、そして知識や技術を生かす応用力を身につける一方、「人を敬愛する、報いる、助ける」といった人徳を高めていただきたいのです。

この世のさまざまな問題を他人ごとにせず、自らの課題として積極的に捉え、人々の真の平和と幸福を創り出す人を育てる教育を目指します。柔軟で素直なこの時期だからこそ、理想の世界を思い浮かべ、自分たちにできる様々な取り組みに小学生らしく挑戦してほしいと願っています。そのために、教科にとどまらず、学校行事や宿泊体験など、さまざまなプログラムが準備されています。特に、2018年に認定された、国際バカロレアPYPプログラムの実践を通して、学ぶことが楽しい児童と、教えることがうれしい教職員の学校を目指します。

平和で豊かな世界の実現のために貢献する 創造力・発信力・コミュニケーション力を持った リーダー・スペシャリストの育成





Mission

[校訓] 信・望・愛

教育方針

- ◆ **学習活動**
教師の指導のもとに、児童が自ら考え、主体的に学び活動し、探究し、発信し、自らの学びを評価し、成長する学びの推進。
- ◆ **行事**
教師のアドバイス、助言を活かし、児童会や委員会が企画、立案、準備、運営し、児童が自ら創り上げる行事の実施。
- ◆ **学校生活**
他者の気持ちを理解し、より良い学校生活を送るために、組織をつくり、ルール、マナーの意義、意味を考え、創り、自らの行動を律する態度・行動の育成。

教育目標

- ◆ **得意を伸ばし挑戦する**
他者との違いを認め合い、自分の得意や独自性を伸ばし、それらを大きく伸ばすためにさまざまなことに挑戦する。
- ◆ **志を高く学ぶ**
自分の目標を高く持ち、自分で考え、決め、行動し、その志に向かって粘り強く努力を続ける。
- ◆ **人のために学び行動する**
人のため、社会のために学び、他者のために活動する体験を数多く積み、社会貢献するマインドと専門分野で活躍できる学力をつける。

6つの教育の柱


好奇心
 授業


脳の機能
 行事


思考
 学校生活


自学
 フィールドワーク


コミュニケーション
 年間探究


メタ認知
 委員会・クラブなど

12年間の学び

	生活型・能力開発型の6年間						探究型・総合型の4年間				専門型の2年間		進学先
	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	
クラス編成 授業と学び	少人数クラス+異学年活動の併用 英語は1年生から週5時間授業、探究の授業を週5時間実施(PYP)						1クラス30名程度の少人数クラス授業 高校1年生までの内容を中学3年までに学習(MYP)				国立理系コース 国立文系コース 私立文理コース ※1		東大・京大をはじめ 国立難関大学 早大・慶大をはじめ 私立難関大学 ハーバード・ケンブリッジをはじめ海外の難関大学
プロジェクト学習													
フィールドワーク【FW】 (開智所沢の例)	山村FW	雪国FW	農村FW	もの作りFW	サービスFW	情報と経済FW	磯FW	社会FW	他地域FW	首都圏FW	海外FW	個人研究	
キャリア学習 ・進路学習	身近な地域社会を知る	生産と消費	農業を知る	さまざまな製造業を知る	サービス業	情報、金融と経済	自然科学の探究	人文科学系の探究	コミュニティプロジェクト		目標に向け全力疾走	学校一体でラストスパート	
	楽しく学ぶ	好奇心と意欲	学び方を考える	夏・冬講習	夏・冬講習	夏・冬講習	自分の得意を考える	夢や希望を育てる	勉強合宿	ベストな進路選択	受験勉強を考える	進学合宿	

※1 DP(ディプロマ・プログラム)を希望する生徒は、系列校の開智日本橋学園中学・高等学校で履修可能です。(選抜試験あり)

問いから広がる、探究の学び

探究のプロセスを大切にする学び

子どもたちが日常の中で「なぜ?」「どうして?」と問いをもち、自ら調べ、考え、仲間と協働しながら未来を創る力を育みます。



年間テーマと探究サイクルによる学び

開智横浜国際小学校では、年間を通じて、教科の枠をこえた6つのテーマについて探究します。これらの6つのうち、1つのテーマを年間テーマとして扱います。年間テーマは、フィールドワークやプロジェクト学習と連携を図ります。日常生活や実社会と結び付けながら、教科の枠にとらわれず、ダイナミックに学習することができます。子どもたちは探究サイクルを意識して学んでいきます。

<各学年のプロジェクト学習のテーマとフィールドワーク>

開智所沢の例	1年	2年	3年	4年	5年	6年
プロジェクト学習	生活	生活と遊び	一次産業	二次産業	三次産業	四次産業
フィールドワーク(FW)	山村	雪国	農村	もの作り	サービス	情報と経済

プロジェクト学習 <開智所沢小3年生の例>

地域に根差したフィールドワークや体験活動を通して、実社会とつながる探究を深め、多様な視点から学びを広げます。

3年生では、身近な地域をテーマにしたプロジェクト学習に取り組みます。例えば開智所沢では三富今昔村を訪れ、五感を使った農業体験や、人・自然・技術が共生する社会について学びました。体験で得た気づきをもとに探究を深め、自分なりの視点で地域や社会への理解を広げていきます。

1年間の流れ

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

所沢大好きプロジェクト【共生】

三富今昔村やトトロの森などの身近な地域の施設や自然を対象に、人と自然と科学技術がどのように共生していくかを探究します。自分たちが所沢市やみんなのためにできることを考え、行動につなげます。

🔍 ところざわサクラタウンの調査

米づくりと価値づくり【組織】

自分たちのバケツ稲と近隣農家の田んぼの栽培方法の比較から、稲の成長や収穫量の違いについて学びます。また、一次産業の経済の仕組みとしてどのようにお米に価値が生み出されていくかを探究します。

📍 現地調査(フィールドワーク)で検証

所沢観光大使PR活動【個人と文明】

西武鉄道や所沢航空公園などの施設に触れながら、所沢の歴史や魅力について発信します。このような学習活動を通して、地域に関わる全ての人によって、より良いコミュニティがつけられるということを探究します。

🗣️ ポスターで調べた結果を発信

Science Toy Story【科学】

理科を中心としたおもちゃづくりを行います。科学の技術や法則がどのように自分たちの生活に関わってくるかを探究します。

🔬 科学の法則を活かしたおもちゃづくりの仮説を立てる

ランタンlab【表現】

アート作品に取り組み、エキシビジョンなどで披露したいと考えています。このような造形活動を通して、光や音に込めた思いが相手に伝わっていくかを探究します。

🎨 アート作品を作る

羽ばたけ10代【哲学】

新入生との出会いや上級生とのお別れなど、1年間の異学年活動を振り返りながら、自己の生き方について考えます。哲学対話やアサーショントレーニングなどの探究的な道徳を実践していきます。

🔄 探究サイクルを自ら回して自分の生き方について考える

年間テーマの一次産業の学習として、自分たちの学校でバケツを使った米づくりを行います。自分たちで育てるバケツ稲と近隣の農家さんの栽培方法を比較し、そこから稲の成長や収穫量にどのような違いがあるのかをプロジェクト学習として取り組みます。秋になったら、稲刈りや脱穀を体験し、みんなで食事会も企画しています。また、3年生はお米を一次産業の経済の仕組みとして位置付け、価値を生みだすことの大切さについても学んでいきます。



仲間と学び、豊かに伸びる

一年の流れ / 一日の流れ

開智横浜国際小学校の一年

※2027年度以降の予定

年間を通してさまざまな行事や体験活動を実施しています。学年やクラスの枠を超えて仲間と協力し、一つの目標に向かって取り組む経験は、子どもたちの成長を大きく支えます。挑戦する楽しさや達成する喜びを味わいながら、豊かな人間性や主体性を育てています。

1学期

- 4月・入学式
- 5月・運動会
(スポーツフェスティバル)
- 6月・学校公開日
・3年FW／6年FW
- 7月・夏期講習(4・5・6年)
・夏休み
・2年FW

夏休み

- 8月・夏休み
・サマーキャンプ
(希望制・抽選)



2学期

- 10月・1年FW／4年FW／
・5年FW
- 11月・秋のエキスカーション
・学校公開日
・音楽会
- 12月・発表会
・冬期講習(4・5・6年)
・冬休み

3学期

- 1月・児童主導型面談
(4・5年)
- 2月・エキシビション
発表会
・学校公開日
- 3月・春のエキスカーション
・修了式
・春休み

FW=体験学習

異学年交流が育む豊かな人間力

学年を超えたつながりが、安心感のある学校生活と豊かな成長につながり、人間関係の幅を広げます。



責任感やリーダーシップを育む

上級生は下級生のお手本となり、行事や日常の活動の中でリーダーとしての役割を担います。



思いやりと信頼関係を築く

異学年との関わりを通し、思いやりや協力する心を育みます。ともに活動する経験が信頼関係を深めます。



学び合う力と意欲を高める

教え合い、学び合う経験から学ぶ楽しさを実感します。上級生の姿に刺激を受け、学ぶ意欲が高まります。



未来につながる力を伸ばす

交流の中で、コミュニケーション力や主体性を伸ばし、豊かな人間関係を築き、未来へ向かう力をつけます。

開智横浜国際小学校の一日

※6時間授業の例



7:30～8:10 | 登校・着替え

「おはようございます!」元気な挨拶で1日が始まります。



8:15～ | 朝の読書・朝の会

朝の読書で心を落ち着かせ、1日の勉強に向けて集中力を高めます。



8:35～ | 午前の授業

ホームからクラスに移動して、午前の授業が始まります。45分授業が4コマです。各授業の間には10分休み、2時間目と3時間目の間には20分の中休みがあります。



12:25～ | 昼食の時間

昼食の時間は、楽しく会話をしながら食事をします。お家から持ってきたお弁当の他、宅配のお弁当や、パン給食も利用できます。



12:45～ | 昼休み

上級生と下級生で鬼ごっこをしたり、同学年でドッジボールをしたり、思いっきり遊びます。



13:15～ | 午後の授業

午後の授業は45分授業が2コマです。豊かな心と健やかな身体をバランスよく育みます。



14:55～ | 終わりの会・着替え・下校

1日の振り返りを行い、明日の活動につなげていきます。



15:20～ | 清掃活動・放課後遊び

教室や共有スペースをみんなで清掃します。身の回りの環境を整えることを通して、主体性や公共心を養います。最終下校時刻は15:50です。



15:50～ | アフタースクール (希望制)

アフタースクールを校舎内で実施します。専属スタッフが対応し、充実した放課後を過ごすことができます。



未来を生きる、力を育てる

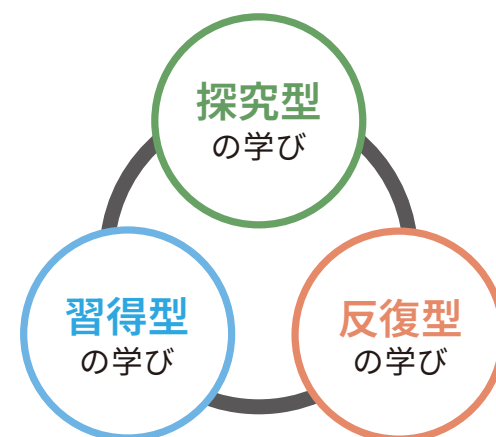
創造力・発信力・コミュニケーション力を伸ばす学びの特徴

教科週授業時間数						
授業区分	小1	小2	小3	小4	小5	小6
各教科の授業時間数	国語	9	9	7	7	5
	社会	-	-	3	3	3
	算数	5	5	5	5	5
	理科	-	-	3	3	3
	生活	3	3	-	-	-
	音楽	2	2	2	2	1.5
	図画工作	2	2	2	2	1.5
	家庭科	-	-	-	-	2
	体育	3	3	3	3	3
	外国語	-	-	-	-	2
特別の教科 道徳	1	1	1	1	1	1
特別活動	1	1	1	1	1	1
外国語活動	-	-	1	1	-	-
総合的な学習	-	-	2	2	2	2
▼以下、教育課程表の授業時間に組み入れない開智横浜国際小独自の授業						
教科融合の探究	3	3	-	-	-	-
外国語活動B	3	3	2	2	2	2
計	32	32	32	32	32	32

1年生の時間割例						
	月	火	水	木	金	土
1	道徳 道徳探究	Art	英語	体育	英語	国語
2	図工	生活	国語	算数	生活探究	休み
3	算数	国語	音楽	Music	算数	体育
4	英語	探究	探究	国語探究	国語	休み
5	国語	算数	算数	国語	体育	A週
6	探究	国語	生活	国語	特活	B週

教科融合のテーマを扱う探究の授業
英語の授業

5年生の時間割例						
	月	火	水	木	金	土
1	道徳 道徳探究	国語	英語	英語	国語	算数
2	算数	総合探究	社会探究	理科	英語	休み
3	英語	音楽	社会	算数	算数	体育
4	理科	体育	算数	国語探究	理科探究	休み
5	図工	家庭科	家庭科	国語	Music Art	A週
6	社会	国語	総合	体育	特活	B週



探究型の学び

すでに学んだことや今までの経験を使って疑問を見つけて、それを解決することで、新しい智を育てる力を身につけます。

子どもたちは、身近なところから疑問を持ち、「なぜこうなのか?」「どうしたら解決できるか?」といった視点・切り口から、その疑問について考えます。情報収集力、考える力、話し合う力を使って、答えを見つけて、新しいことを学びます。答えが一つに決まる解答を出すということも大切ですが、答えが複数ある場合、さらに答えが出ない問題に対して考え続けることを大切にします。

習得型の学び

先人たちが築き上げてきた体系化された知識や技術を学んで、いろいろな問題を解決できる力を育てます。

探究活動だけではなく算数で学ぶ数や図形、理科で学ぶ自然界の法則、国語で学ぶ語彙・文法やいろいろな表現技法を習得します。教科ごとの学びや教科を組み合わせた学びの中で、これらの知識や技術を応用可能なものにレベルアップさせていきます。個人が習得し実用的に使えるようになった知識やスキルは大人になってからの社会生活で活躍する基盤となります。

反復型の学び

習得した知識やスキルを計算問題やAIアプリなどを使って徹底的に繰り返すことで、自分自身の身体に落とし込みます。

漢字の読み書きや言葉の使い方、計算、英単語、英語のフレーズなどを、何度も練習してしっかり覚えさせます。これで、「理解する」ことから「実際にできる」ようになります。AIを用いたアプリ・ICT機器を使って進捗を管理したり、一人ひとりのレベルに合った問題を出したりします。さらに授業や行事などを通していろいろな探究型の学びを繰り返すことで、児童自身で探究活動が行えるようになります。

国語

充実した語彙と論理的思考力、表現力を育むことを重視し、日常生活で使える言語感覚を磨きます。さらに日本文化に触れ親しむことで、独自の言語表現を学びます。

社会

身近なところから、学年に合わせ地域を広げ、社会がどのように構成されているか捉えていきます。調査する中で疑問に思ったことを調べ、より良い社会づくりに貢献できる参画の仕方を考えます。

英語

「使える英語」の習得を目指し「フォニックス (Phonics)」で発音や発声の基礎を学び、対話、スピーチ、発表を通じてコミュニケーション能力を養います。

音楽 / 図工

音楽では、歌唱や楽器演奏によって耳から感性を養います。図工では、作品を作りながら目を通して感性を涵養します。

体育

個人の運動技術、チームワーク、心身ともに健全な成長を促すため多様な運動を取り入れます。

道徳

哲学対話や教材を使ったロールプレイングを通して、生活の中で直面する道徳的な問題や疑問について考えます。

算数

答えに至るまでの過程を重視し、筋道立てて考える力を育みます。さらに、そこから考えを広げたり、深めたりすることで創造的・発展的に考える力を大切にします。

理科

実際の生き物などをじっくり観察することで好奇心を刺激し、実験を通じて理科の面白さを実感させることに重点を置きます。最先端のサイエンスにふれる活動もあります。



国際バカロレア (IB) の学び



開智横浜国際小学校は、IB(国際バカロレア)の Primary Years Programme、中学校は Middle Years Programme の認定校です。国際バカロレアが提供するプログラムでは、将来、急速に進むグローバル社会を生き抜く上で、学び、そして働き続けるために必要な知性、人格、情緒、そして社会的なスキルを身につけることができます。

小学校の学びのポイント

PYP Primary Years Programme

概念の探究を通して、自分で意味を構築しながら自分と自分の周りの世界についての理解を深めていきます。継続的に自己の成長と課題について振り返り・より深く、より遠く目標を設定し歩んでいきます。

中学校の学びのポイント

MYP Middle Years Programme

すべての教科において、知識をインプットするだけでなく、得た知識を活かして探究し、その考えを発信します。実社会で活用できる学び(スキル・知識・視点)を身につけ、生涯学習者として成長していきます。

高等学校の学びのポイント

高校2年生からは3つのコース(国公立理系コース、国公立文系コース、私立文理コース)が設置されています。生徒一人ひとりの才能や可能性を伸ばし、広い視野と豊かな人間性を育みながら、これからの社会を主体的に創る人へと成長していきます。

世界とつながる、力を育む

英語 / ICT

使える英語を育む学び



英語を学ぶことを通して国際的な視野を育む

●多様性を理解する

英語学習は言語習得にとどまらず、多様な価値観や文化に触れ、世界への視野を広げます。英語を通して考え、伝え合う経験を重ね、国際社会で活躍する土台を育みます。

Music, Artの授業

●英語で表現する楽しさ

音楽や図工を英語で学ぶことで、英語を自然に使う機会を増やします。歌や作品制作、発表を通して表現力を高めながら、「使える英語」を身につけます。

全員が受ける週5時間の英語授業

●毎日英語に触れる

週5時間の英語授業を通して、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく育てます。日常的に英語に触れることで、無理なく英語を使う力を伸ばします。

英語探究クラス（週に10時間の英語）

●英語で社会課題を考える

英語を学ぶだけでなく、英語で調べ、考え、発信する探究的な学びを行います。世界の課題や多様な価値観に触れながら、実践的な英語力を育てます。

授業以外の英語の学び

Raz-kids

Raz-kidsは「聞く」「読む」「録音する」「読解問題に答える」ことができる、英語学習用E-ラーニング教材です。Raz-kidsでは400冊のリーディング教材の中からそれぞれのレベルにあった学習を行うことができます。家庭学習の習慣を身につけることを主眼に置いていますが、家庭で読んだ本について、学校で内容を共有するなど、さまざまな場面を通してRaz-kidsを使用します。

TOEFL

年に1回、TOEFL Primaryテストを実施します。毎年の継続的な試験の実施により、現在自分がどの程度の英語力を保持しているのかの確認だけでなく、英語運用能力の「伸び」を児童が実感することもできます。また、自らの学習成果や課題を客観的に把握する機会にもなります。基本的には1～3年生はTOEFL Primary Step1を、4～6年生はTOEFL Primary Step2を受けていただきます。

サマーキャンプ（希望制※1）

毎年高学年児童を対象としたサマーキャンプ（海外語学研修）を実施します。現地での生活や人々との交流を通して児童は、英語力の向上とともに異文化を肌で感じる貴重な経験を得ることができます。現地の人々とコミュニケーションがとれたという成功体験は、児童の自信につながりチャレンジ精神を刺激するはずで



※1 応募人数に応じて抽選の場合あり

ICTで広がる学び

デジタルに囲まれて効率よく学習

1年生から1人1台のiPadを持ち、全ての授業教室にはプロジェクターを配置しています。さまざまなアプリケーションやシステムに支えられて、児童と大人が一緒になって学びを深めていきます。

AIを活用した創造的な反復学習

AIは子ども達の創造力を大きく伸ばします。例えば算数や英語の反復学習では、AIを搭載したアプリケーションを使います。そこではAIが子どもたち一人ひとりに合わせた問題を出題し、効率よく学習を進めることができます。

クラウドサービスで課題を共有

宿題や授業中の課題を管理する際に、ロイロノートなどのアプリケーションを使うことがあります。ZoomやGoogle Meet等のオンライン会議システムも整備し、社会情勢の変化による急なオンライン授業にも対応できます。

教科での活用例



国語

電子辞書代わりにiPadを使って、レポートを完成する



算数

友達の考えを共有することで新たな解決方法を知る



社会

3Dの地形図で、立体的に街を理解する



理科

動画教材で、宇宙の構造などを、立体的に理解する



図工

Canvaを使ったクラスキャラクターのデザイン



体育

自分の動きを動画で確認し、振り返りに使用する



音楽

Chrome Music Labを使った旋律づくりの授業

未来を見すえたプログラミング教育

ICT化が進む社会に対応する人材を育成するために、プログラミング教育に注力していきます。

●プログラミング的思考力とは？

プログラミングというと、パソコンを使ってさまざまな命令を組み上げていくイメージがありますが、それだけではありません。プログラミング的思考力とは、自分が意図する活動（作業）を実現するためにはどのような動作が必要なのかを論理的に考える力のことを指します。

●レゴブロックで基礎を育てる

まずレゴブロックを使ってプログラミングの基礎を学びます。どのパーツを組み合わせれば、完成させたい形に近づくことができるかを考えます。

●疑似言語でプログラミング

少しずつレベルが上がってくると、Scratch という言語を用いたプログラミングを行います。視覚的に分かりやすくデザインされたシステムを操りながら、アニメーションやゲームを作っていきます。



中学・高等学校の学び

〈主体的な学び〉

知識を学ぶだけでなく、探究や発信を通して主体的に学ぶ力を育てます。一人ひとりの発信を丁寧に分析し、適切で有用なフィードバックができるよう心がけています。

〈IB・MYP認定校〉

MYPの8つの教科群に文部科学省の定める教科をあてはめます。教科横断的に捉え、教科内容と実社会との関連性への認識を高められるように学んでいきます。

〈高校コースの設置〉

国公立理系コース、国公立文系コース、私立文理コースの3つのコースを設置し、一人ひとりの進路や学びに応じた教育を行います。

中学1年

中学2年

中学3年

高校1年

高校2年

高校3年

「主体性と探究心」にふれ、学びの基礎をつくる

Step 1

自らの興味や関心を見つけ、学習習慣と基礎力を育てる

- ・国語(日本人教員)
- ・数学(少人数)
- ・英語(ネイティブ教員)
- ・理科・社会(ワーク)
- ・探究(総合)
- ・体育・音楽・美術
- ・言語・情報
- ・外国語

Step 2

思考力や表現力を磨き、深い学びを通して視野を広げる

- ・英語(ネイティブ教員)
- ・充実した授業
- ・探究・プレゼンの実践
- ・国際的な活動への参加

Step 3

自分の考えを深く掘り下げ、進路を意識し、自分の言葉で発信する

- ・教科をつなぐ探究学習
- ・自分の強みを見つける
- ・キャリア探究

大学進学準備期間

コースの学びで、未来を切り拓く力を育成

- 国公立理系コース
- 国公立文系コース
- 私立文理コース

高校1年までに身につけた学力をさらに深化させて大学進学教育を行います。生徒の志望に合わせて、それぞれに対応する力を身につけることを目指します。

施設・設備

グラウンド



運動会が行われ、毎年多くの感動が生まれています。野球、サッカーなどの同好会活動でも利用されています。

アリーナ



冷暖房が完備されており、体育の授業に集中して参加できます。学年やクラスの行事やレクリエーションでも活用されています。

ABC教室(小教室)



探究の時間などグループでの活動をするときに、利用することがあります。放課後学習やアフタースクールの教室にもなっています。

理科室



ピーカーやガスコンロなどさまざまな実験器具があります。理科の授業や探究の時間の実験や観察をするときに利用します。

音楽室



40年以上大切に使用されている木の机がぬくもりを感じさせます。たくさんの種類の楽器があり、合奏と歌唱の演奏ができます。

家庭科室



調理実習や製作活動を行う教室です。オープンや可動式テーブルを備え、安全に配慮した学習環境が整っています。

図書室



およそ10,000冊の蔵書があります。読書センター、そして情報・学習センターとして活用しています。

AV教室



学年で集まって活動ができる場所です。体験学習の説明会や学年保護者会を行います。委員会活動やアフタースクールなどにも使われます。

図工室



道具や材料を使うため、普通教室より机を広くとってあります。筆洗バケツは図工室に常設し、絵の具バッグも収納できるようにしています。

制服

制服デザインは制作段階のため、変更となる可能性がございます。



小学校



中学校



高等学校

アフタースクールケア

学校内にて実施する最大19時までの預かり保育です。世界や平和に目を向けるプログラム、体力づくりプログラムなど多種多様なプログラムを日々取り入れています。子どもたちは安全に楽しく過ごす中で、人生を生きるために必要な力や「やってみたい!」「楽しかった!」をたくさん身につけていきます。

活動時間・場所

- ・月～金曜日 放課後～午後7時00分 スタジオ(体育館地下1階)
- ・長期休暇(夏休み・冬休み・春休み) 午前8時30分～午後6時30分
- ・小学校行事による振り替え休日 午前8時30分～午後6時30分